

## 事務事業評価における総括

部 局 名	下水道河川部	記入責任者	塩崎 威
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>下水道河川部の事業は、「災害応急対策活動」、「庁内共通事務」及び「部内調整事務」を除き、53 事業です。</p> <p>このうち、43 事業を S 評価、9 事業を A 評価、1 事業を実績なしとしています。このことから、下水道河川部の各事業については、概ね順調に進捗していると言えます。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>実績なしにつきましては、非常用発電機の燃料費であり、補充の必要がなかったことによるものです。また、A 評価の事業については、事業の成果があがっており、指標が適切であったか継続して検討します。</p> <p>各事業において成果が上がっている一方で、部局の一人当たりの平均時間外勤務時間は全庁の平均時間外勤務時間を超えているため、この点については、引き続き、非常勤嘱託職員や臨時職員の活用、事業実施方法や事務フロー等の見直しを進めることで縮減に向けて取り組みます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>下水道河川部の各事業については、概ね順調に実施できています。</p> <p>全国では大雨や地震等による災害が発生しており、本市においても市民の安全・安心を確保するため、雨水対策や下水道施設の地震対策が求められています。</p> <p>雨水対策については、面整備の推進による雨水排除能力の拡大に加えて、貯留・浸透などの流出抑制対策も併せて実施するとともに、優先度を見極めた上で事業の効率化とコストの縮減を図ります。</p> <p>老朽化している下水道施設についても、限られた財源の中で耐震化、長寿命化における改築更新を効率的に行い、施設の維持管理を実施して参ります。</p>			